

国内現役最古の車両

モ161号が期間限定で通常運行いたします

2021年12月2日(木)から2022年2月末頃まで

阪堺電気軌道（本社：大阪市住吉区／社長：吉田 行成）では、国内現役最古の車両であるモ161形車のトップナンバーで、主に貸切専用として運用しているモ161号車を、期間限定で通常運行いたします。

これは、今年3月より実施しました「モ161号大規模修繕工事」のクラウドファンディングによる修繕が9月に完成し、返礼品である完成披露撮影会で一部ご支援者さまには完成した姿をご覧いただきましたが、それ以外のご支援者さまをはじめ、広く一般の方々にも修復した姿をご覧いただく機会を設けるため、12月2日（木）より約3か月間、通常営業電車として運行いたします。

なお、詳細については、以下のとおりです。



記

【モ161号車の運行について】

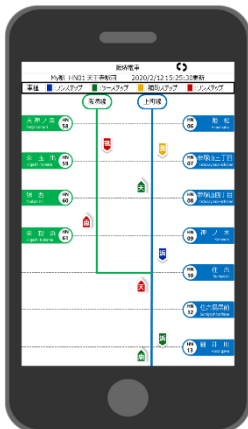
運行期間：2021年12月2日（木）から2022年2月末頃まで（予定）

運行区間：天王寺駅前・恵美須町～浜寺駅前 間 全線

※点検等、車両運用により、運行しない日・区間があります。

以上

モ161形車の電車位置情報が、南海アプリでも確認できます。



アイコン表示例)

色：電車の車種

- ノンステップ（1001形：堺トラム・1101形）
- ツーステップ（モ701形・モ601形）
- 補助ステップ（モ501形・モ351形）
- ワンステップ（モ161形）

※モ161号車以外の車両も含まれます。

南海アプリのご利用方法は、[こちら](#)でご確認ください。

本件に関するお問い合わせは

阪堺電気軌道(株) 業務部 営業課 TEL：06-6671-3080

(平日：9時～17時50分／土・日・祝日 休業)